

Lアラートとは？

災害情報を地域住民にいち早く届けるための仕組みです。

地方自治体などが発信する地域(Local)の災害情報を集約し、テレビやネット等の多様なメディアを通して一括配信する共通基盤です。



※「Lアラート®」は、総務省及び一般財団法人マルチメディア振興センターの登録商標(登録第5802710号)

災害情報が、いつでも、どこでも入手可能に

テレビからも



ラジオからも



パソコンからも



携帯電話からも



防災アプリ



緊急速報メール

東日本大震災の3か月後の
2011年6月、Lアラートサービス
は開始されました。

それから5年目を迎え、
Lアラートは、災害情報配信に
欠くことのできない社会基盤と
なっています。

Lアラートの災害情報は、どこで見られる？

自宅で

地上波テレビ放送



(日本放送協会提供)

外出先で

スマートフォン



(ヤフー株式会社提供)



2015年12月末現在、
 ・全国33都道府県※がLアラートに発信
 ・500以上のメディアが情報伝達者に

※日本地図のピンク部分

駅構内のサイネージ



(株式会社日立ケーイシステムズ提供)

これからのLアラートと災害情報配信

進む全国展開

- 2016年中には、40都道府県が情報発信を予定

これから：より役立つ情報を

- 発信情報の正確化・迅速化の推進
- ライフライン情報の発信
- 避難情報の地図上への表示
- 多言語による災害情報の伝達



停電情報の表示
(データ放送)



ガス供給情報の表示
(WEBアプリ)

埼玉県内の動き

- 県における実証実験の実施(右の写真はその模様)
 総務省補正予算を活用し、地図・多言語による防災情報とエネルギー供給情報の伝達手法を実証(2015年12月)
- 県及び県内市町村が情報配信開始
 県が整備した防災システムからLアラートを通じた災害情報の配信が開始(2016年3月)



避難情報の地図上への表示
(データ放送)

お問合せ：一般財団法人 マルチメディア振興センター (FMCC)
<http://www.fmcc.or.jp/commons/index.html>

